

ネイティブ・シュードモナス属アシルコエンザイムA合成酵素

Cat. No. NATE-0028

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 ロングチェーン脂肪酸アシル-CoA合成酵素は、複雑な脂肪酸の分解を活性化するリガーゼファミリーの一角です。ロングチェーン脂肪酸アシル-CoA合成酵素は、アデニル化中間体を介する二段階のプロセスによって脂肪酸アシル-CoAの形成を触媒することにより、中間代謝において重要な役割を果たします。この酵素は、細菌から人間までのすべての生物に存在します。脂肪酸のβ酸化の前段階反応を触媒するか、リン脂質に組み込まれることができます。アシルコエンザイムA合成酵素タンパク質は、哺乳類細胞におけるロングチェーン脂肪酸の輸送を調節し、促進する役割を担っています。

用途 アシルコエンザイムA合成酵素は、脂肪酸代謝および脂質代謝の研究に使用される可能性があります。これは、脂肪酸輸送タンパク質との相互作用を研究するために使用されており、これは脂肪細胞における長鎖脂肪酸の効率的な細胞内取り込みに関与していることがわかっています。

別名 アシル-CoA合成酵素; 脂肪酸チオキナーゼ (長鎖); アシル活性化酵素; パルミトイル-CoA合成酵素; リグノセロイル-CoA合成酵素; アラキドニル-CoA合成酵素; アシルコエンザイムA合成酵素; アシル-CoAリガーゼ; パルミトイルコエンザイムA合成酵素; チオキナーゼ; パルミトイル-CoAリガーゼ; アシルコエンザイムAリガーゼ; 脂肪酸CoAリガーゼ; 長鎖脂肪アシルコエンザイムA合成酵素; オレオイル-CoA合成酵素; ステアロイル-CoA合成酵素; 長鎖脂肪アシル-CoA合成酵素; 長鎖アシル-CoA合成酵素; 脂肪酸エロンゲース; LCFA合成酵素; プリスタノイル-CoA合成酵素; ACS3; 長鎖アシル-CoA合成酵素I; 長鎖アシル-CoA合成酵素II; 脂肪アシルコエンザイムA合成酵素; 長鎖アシルコエンザイムA合成酵素; FAA1; EC 6.2.1.3; 9013-18-7

製品情報

由来 シュードモナス属

EC番号 EC 6.2.1.3

CAS登録番号 9013-18-7

活性 > 2 ユニット / mg タンパク質

単位定義 1ユニットは、ATPとオレイン酸から、pH 8.1、25°Cの条件下でコエンザイムAの存在下で1.0 μmoleのAMPとオレオイルコエンザイムAを形成します。

保管・発送情報

保存方法 -20°C